

事務事業名	公共施設解体撤去事業		所属部	掛合総合センター	所属課	市民サポート課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	市民サポートG	課長名 永瀬 浩二
	施策名	〈08〉健全財政の維持		担当者名	茂富 加奈子	電話番号 0854-62-0300 (内線) 4502
	目的・対象	市の財政	意図 健全に運営する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業	公共施設管理事業
	基本事業	〈025〉効率・効果的な財産の管理運用			0:1:1:0:0:8	中事業 中事業
目的・対象	基金・財産	意図 効率・効果的に財産を管理運用する。	0:5:3:0:0:3			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
<ul style="list-style-type: none"> ふるさと活性化センター・波多集会センター(施設) 地区住民(掛合町住民) 	老朽化等により今後も利用が見込めない市有施設を解体撤去し、市有地の新たな有効利用につなげる
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(R3 年度～ R5 年度)	【ふるさと活性化センター】現在の利用は無く今後解体撤去工事が予定されているため、残存備品等の片付け・処分や有害物資調査を行う。 【波多集会センター】令和4年度に解体撤去工事を完了
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<ul style="list-style-type: none"> 残存備品等 処分 有害物資(ダイオキシン/活性化センター) 調査 解体撤去工事(波多集会センター) 	残存備品処分は、可能な範囲で総合センター職員が運搬を行い支出を抑えている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 解体撤去に伴う経費	千円	0	42,393	28,479	133,115
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
有害物資調査(活性化C) 429千円 大規模事業等基金繰入金	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円		37,900	26,600	126,300	
		その他	千円			400	6,800	
		一般財源	千円	0	4,493	1,479	15	
解体撤去工事(波多集会C) 28,050千円 地方債: 合併特別債		事業費計	千円	0	42,393	28,479	133,115	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	老朽化した施設の維持管理や修繕工事にかかる業務・経費が削減できる。また、解体撤去工事によりあらたな土地の有効利用が望める。
② 事業実施するうえでの課題	解体撤去工事を行うために、有害物資調査や設計等の専門的な知識・技術が必要。総合センター職員だけでは対応できないため他部局や業者と連携して業務にあたる必要がある。また、跡地利用については地元との協議を継続して行っているが、なかなか方向性が定まらず現実性が無い等課題が多い。
③ 課題解決に向けた改革改善等	建設部に営繕協議。また、解体撤去工事の経験がある部署から情報提供をお願いする。跡地利用について、地元住民の要望や市役所他部局との調整を図る。